

ラティシェフ・ロシア連邦ウラル連邦管区大統領全権代表が
佐藤本会副会長（福島県知事）と会談（全国知事会）

- 地方自治体間の交流を強調 -

このほど、外務省の招きで来日（2月2日～6日）したラティシェフ・ロシア連邦ウラル連邦管区大統領全権代表は、2月4日（水）本会を訪れ、本会副会長の佐藤福島県知事と会談を行いました。

席上、全権代表から、「ウラル連邦管区はロシア連邦の中で、最も石油、天然ガスなどのエネルギー資源に富む地域であり、そのため、鉱工業等の産業も盛んであり、国民所得に占めるシェアも非常に高く、海外からの投資には有力な地域である」との認識が示され、両国の地方自治体同士の関係については、

経済面等で質的な向上を図るためには、両者の関係を軌道に乗せることが最も重要な課題である。

分野ごとに共同事業を実施することが望ましい。

各都道府県が関心を持ってもらえるよう、積極的にサポートを行いたい。との発言があり、最後に、両国間の相互理解と経済交流が深まることへの期待が述べられました。

これに対し、佐藤副会長は、「全権代表の今の考えをより発展的なものにするため、1997年以来中断している日露知事会議を再開し、実のある意見交換を行いたい。また、ウラル連邦管区の持つポテンシャルなど本日説明のあったことについて各都道府県知事に伝えたい」と述べ、会談を終了しました。